

社会科（地理的分野）学習指導案

令和 6 年 7 月 日第 校時
中学校 1 年 組 名
指導者

1 単元名 人々の生活と環境

2 単元設定の理由

○生徒観

1 年生は全体に共通して、興味のあることには熱心に取り組み、自分の得意を伸ばすことのできるエネルギーに満ちあふれている生徒が多く、特に歴史的分野の授業では、「なぜ文明が発生するのか？」という問いに対して、提示した資料を用いながら立地や栽培されていた作物に注目して深く考える様子が見られた。一方で、地理に関しては苦手意識を持つ生徒も多い。地理の導入の単元で、緯度経度や時差の授業を行った際には、位置の理解や表現の仕方など中学校から新たに学習する内容の理解に時間がかかる生徒も少なくなかった。新たな学習内容について、いかに壁を感じることなく受け入れられるか、写真や動画など視覚的な補助を行いながら、地理的分野に興味を抱き、学習することのできる生徒の育成に尽力したい。

○教材観

本単元は、既習の「世界と日本の地域構成」を踏まえて、世界の多様な地域とそこに住む人々の生活を学習の対象としている。世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解する学習を通して、世界の地理的認識を養うことをねらいとしている。単元を通して、世界の諸地域の場所を理解させていきたい。しかし、場所の理解にとどまらず、人間と自然環境との相互依存関係などに着目しながら、人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然環境から影響を受けたり、逆にその場所の自然環境に影響を与えたりすることにも注目させ、思考力を育むことも狙いとする。同時に、本単元は自然環境との相互依存関係も、社会的な条件によっては変化が起こってきている点に気づかせることもできる題材である。したがって、自然環境との相互依存的な生活の学習を一通り終えたあとに、近年の伝統的な生活からの変化を感じさせる、衣食住に関する資料を用いることで、変化の背景に迫っていくことができると考えている。

○指導観

地理では世界の区分や位置について学習を進めてきた。本単元でも、取り扱う地域の場所や位置に注目させながら授業を進めることで、基礎的な知識も身につくのではないかと考える。ただし本単元では、最終的に人間と自然環境との相互依存関係や、社会的な条件による変化まで生徒に考えさせることを狙いとしている。そのため、単元を通して学習する記述的知識を、最終のまとめの授業では「伝統的な生活」と「現在の様子」とに振り分ける作業を行うことで、生徒が変化を捉えやすくなるのではないかと考える。また、班でその変化について話し合う場面をもうけ、アウトプットしていくことで、より知識の整理やほかの知識への結びつきを強めていき、定着をはかりたい。

3 単元の目標

- ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解することができる。【知識及び技能】
- ・世界の様々な地域の生活は、周囲の自然環境からどのような影響を受けているか、写真などの諸資料を基にまとめ、その特色や変容を自然および社会的条件などに着目して考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現
・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然および社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件などに着目して表現している。

5 指導と評価の計画（8 時間）（○：評定に用いる評価 ●：学習改善につなげる評価）

時間 (全 8 次)	学習活動	評価の観点			評価規準
		知	思	態	
第 1 次	・世界の様々な地域の気候について雨温図などからその特徴を捉える。 ・世界の様々な生活と環境について、写真からどのような暮らしをしているか読み取る。	●			雨温図や写真などから必要な情報を読み取ることができる。
第 2 次	・暑い地域の暮らしについて、高温多湿な環境であることを資料から読み取る。 ・伝統的な暮らしと、近年の熱帯林の開発等の課題があることを理解する。	●			暑い地域の暮らしについて、衣食住の観点から理解している。
第 3 次	・乾燥した地域の暮らしについて雨温図をはじめとした資料から、その特徴を読み取る。 ・伝統的な暮らしについて理解し、一方でデパートなどの写真から近年の変化について理解する。	●			乾燥した地域の暮らしについて、衣食住の観点から理解している。
第 4 次	・温帯の暮らしについて、自然環境とそこで暮らす人々の生活の工夫について理解する。	●			温暖な地域の暮らしに

	・一方で太陽光発電などの技術の進歩による町並みの変化があることを理解する。				ついて、衣食住の観点から理解している。
第5次	・寒い地域の自然環境とその環境に基づく人々の伝統的な暮らしについて理解する。 ・伝統的な暮らしの変化について、近年デパートでの買い物や屋内での生活の様子を示した資料を基にとらえる。	●			寒い地域の暮らしについて、衣食住の観点から理解している。
第6次	・高山の気候について、自然環境について理解し、どのような暮らしが成り立っているのか捉える。 ・スマートフォンの利用や、観光客向けの商売を行っている様子などから、気候に合わせた生活からの変化について理解する。	●			高山の地域の暮らしについて、衣食住の観点から理解している。
第7次 (本時)	・世界各地域では、環境に適した暮らしが営まれていることをまとめる作業から、人間と自然の相互依存関係について理解する。 ・また、人々の生活の様子を決定するのは環境が要因だけでなく、技術の進歩や都市化についても気づくことができるように、生活の変化を捉える。		○		・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、考察し、表現している。
第8次	・世界での宗教の分布と宗教に関わる生活について理解する。 ・世界の人々の伝統的な生活には人間と自然の相互依存関係だけが影響するのではなく、宗教などの社会的な要因もあることを理解する。				

6 本時

(1) 目標

地域の過去と現在を比較することを通して、その生活が変化することをとらえ、世界各地の人々の生活が時代とともに変化するものであることを理解し、その背景の社会的な要因についても考えることができるようにする。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
5分	1 本時の学習テーマを確認し、学習課題を理解する。	○ 日本の伝統的な暮らしと現在の日本の生活について想起させ、学習課題を理解することができるようにする。		
	【学習課題】 気候が違う地域の人々は同じ暮らしをしているのだろうか？			
10分	2 伝統的な暮らしについて振り返る。	○ 衣食住のうち、1つの視点に絞り、5つの気候の暮らしの中で、どのように表れていたかを班でまとめさせ、学習を振り返ることができるようにする。 ○ どのような伝統的な暮らしがあったのか、発表を通してクラス全体で再確認できるようにする。		
20分	3 伝統的な暮らしの変容について理解する。	○ 伝統的な暮らしが変化していることを、今までの学習のワークシートや教科書などを使って振り返ることで、理解できるようにする。		
10分	4 学習課題について、自分の考えを記述する。	○ 伝統的な暮らしと、その変容とを見比べることを通して、改めて学習課題に対する答えを記述することができるようにする。	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件などに着目して考察し、表現している。	ワークシート

5 分	5 人々の伝統的な暮らしが変容する背景について、まとめる。	○ 気候が違えば、人々の暮らしはどうなっているのかについて各々の意見を発表し、伝統的な暮らしとその変容がおこっている背景について理解できるようにする。		
--------	-------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	--	--

(3) 評価および指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然および社会的条件などに着目して、資料などを十分に活用しながら、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	伝統的な暮らしの変容について、日本や衣食住の一例を取り上げて示すことで、他の地域の変容についても同様に考察することができるように手立てを打つ。また、問いに対する答えは考え方によって様々であることを伝えることで、多面的・多角的に考察できるように促す。